

平成21年度

主要な施策の成果

安心安全都市
生涯学習都市

第1節 保健・医療

1. 保健予防活動の充実

(1) 市民の健康づくり

○市民に対する保健サービス及び身体障害者等に対する各種の福祉サービスの提供を行った。

- ・保健福祉センター利用状況

区 分	保健	児童	障害	高齢	一般	市機関	合計
利用件数(件)	537	1,128	615	22	63	44	2,409
利用者数(人)	9,611	31,092	11,714	628	2,629	1,004	56,678

- ・上記以外（各種相談）利用者数

母性相談	栄養相談	健康相談	子育て支援総合センター	障害者生活支援センター	地域包括支援総合センター	ことばの教室	合計
1,941	49	274	4,949	677	148	5,173	13,211

(2) 感染症などの予防

○予防接種実施状況

区 分	ジフテリア・百日咳・破傷風	ジフテリア・破傷風	急性灰白髄炎(ポリオ)	麻しん・風しん混合	麻しん単独	風しん単独
接種者数(人)	5,330	594	2,574	4,759	5	6

○結核検診実施状況

区 分	BCG接種	間接撮影
受診者数(人)	1,405	5,754

○インフルエンザ予防接種実施状況

- ・中学3年生、高校3年生 接種者数 1,777人
- ・高齢者（65歳以上対象） 接種者数 16,162人

【保健福祉部 健康推進課】

2. 成人保健活動の充実

(1) 生活習慣病の予防

○健康教育実施状況

区 分	婦人会	老人クラブ	町内会	企業・サークル	その他	合 計
実施回数(回)	14	38	21	42	23	138
受講者数(人)	273	1,094	485	1,151	680	3,683

○健康相談実施状況

- ・実施回数 面接 75回 利用者数 面接 252人
電話 111回 電話 197人

○検診実施状況

区 分	検診日数	受診者数
胃がん検診	92日	5,074人
子宮がん検診	集団	1,084人
	施設	4,751人
乳がん検診	集団	1,101人
	施設	2,609人
前立腺がん検診	集団	1,905人
	施設	905人
肺がん検診	92日	5,536人
大腸がん検診	集団	5,237人
	施設	3,920人
健康診査	集団	16人
	施設	112人
肝炎検査	集団	1,013人
	施設	814人
市民健康診査	集団	159人
	施設	66人
骨粗しょう症検診	施設	181人

○市民健診・健康診査保健指導（初回支援実施分）

- ・積極的支援 利用者数 2人
- ・動機付け支援 利用者数 3人

○健康づくり講座

- ・健康プラン1日コース 実施回数 20回 参加者数 119人
- ・食事バランス講座 実施回数 10回 参加者数 46人
- ・からだスッキリ講座 実施回数 20回 参加者数 309人

○リラクゼーション事業

- ・実施回数 123回 利用者数 757人

【保健福祉部 健康推進課】

(2) 寝たきり・認知症の予防

○訪問指導事業

- ・訪問指導実施状況

区分	健康診査の 要指導者等	閉じこもり 予 防	介護家族者	寝たきり者	認知症老人	その他	合 計
実訪問者数(人)	92	4	4	1	0	19	120
延訪問者数(人)	96	15	6	1	0	44	162

○身体障害者体力向上トレーニング事業

- ・実施回数 272回 実参加者数 108人 延参加者数 6,499人

○介護予防事業

- ・実施回数 924回 実参加者数 641人 延参加者数 7,778人

○いきいき温泉事業

- ・実施回数 136回 実参加者数 90人 延参加者数 2,356人

○生活機能評価

- ・受診者数 6,965人

○「口腔機能の向上」に関する講座

・実施回数 47回 実参加者数 298人 延参加者数 479人

○ひろびろ元気教室

・実施回数 64回 実参加者数 175人 延参加者数 822人

【保健福祉部 健康推進課・介護保険課・高齢者福祉課】

(3) 精神保健対策の充実

○回復者クラブ活動事業補助 7件

○福祉ホーム運営費補助 2件

○施設通所交通費助成 実利用者数 87人

・所得制限を見直し（所得要件を世帯単位から個人単位へ変更）対象者の拡充を図った。

（見直しにより新たに対象となった者のうち、実際に利用した者は上記実利用者数のうち23人。）

【保健福祉部 障害福祉課】

(4) 難病対策の充実

○エキノコックス症検査実施状況

区 分	一 般	児童・生徒
血清検査受診者数(人)	22	0

【保健福祉部 健康推進課】

3. 母子保健活動の充実

(1) 妊産婦及び乳幼児の健康

○乳幼児健康診査

区 分	対象者数(人) A	受診者数(人) B	受診率(%) B/A	有所見者数(人) C	有所見率(%) C/B
4か月児	1,414	1,399	98.9	170	12.2
10か月児	1,370	1,146	83.6	147	12.8
1歳6か月児	1,371	1,340	97.7	549	41.0
2歳児(健康相談)	145	97	66.9	—	—
3歳児	1,356	1,250	92.2	399	31.9

○妊婦健康診査

妊婦健康診査における公費負担を5回から14回へ拡大。超音波検査を1回から6回へ拡大し、年齢制限を撤廃した。

・妊婦一般健康診査 受診者数 17,155人

・超音波検査 受診者数 9,702人

○幼児歯科健診及びフッ素塗布 受診者数 6,593人

【こども未来部 子育て支援課】

(2) 乳幼児医療費の助成

○0歳児から小学校修了前までの乳幼児等の医療費負担を軽減するため、個人負担分の一部又は全部を助成した。（小学生については入院費のみ助成）

・対象者数 8,975人（年度平均）

・乳幼児医療費助成件数 157,498件

【こども未来部 こども課】

(3) 相談活動の充実

- 母性相談室 利用者数 1,948人
- ほんわかファミリー教室 参加者数 460人
- すくすく教室 参加者数 289人
- 母子訪問指導員による新生児、産婦訪問指導 実施件数 832件
- すこやか親子教室 利用者数 1,752組
- 家庭訪問

区 分	妊産婦	新生児	乳 児	幼 児	その他
訪問件数 (件)	571	532	65	502	14

○性の相談事業

- ・性の電話相談 専任相談員 1人配置 相談件数 657件
【こども未来部 子育て支援課】

(4) 特定不妊治療費助成

- 道補助の上乗せ補助 42件
【こども未来部 子育て支援課】

4. 地域保健医療体制の充実

(1) 救急医療体制の充実

○休日、夜間における急病診療体制

・一次救急

区 分	内 容	患者数 (人)		
		市民	市民以外	計
夜間急病センター	年中 午後9:00～翌午前8:00	3,711	1,755	5,466
在宅当番医制	夜間 午後7:00～ 午後9:00	4,584	1,613	6,197
	休日 午前9:00～ 午後5:00 日曜	9,173	4,920	14,093
休日歯科在宅診療	休日 午前9:00～ 午後4:00 日曜	433	362	795
合 計		17,901	8,650	26,551

・二次救急

区 分	厚生病院	協会病院	第一病院	合 計
待機日数 (日)	179	148	109	436
患者数 (人)	1,529	633	500	2,662

※患者数は市民のみ

・二次救急協力医療機関

区 分	開西病院	協立病院
待機日数 (日)	29	29
患者数 (人)	52	46

※患者数は市民のみ

○休日、夜間における一次救急医療機関の案内

- ・急病テレホンセンター案内状況

音声テープ案内	職員対応	合計
4,835件	5,306件	10,141件

※職員対応の件数は市民のみ

○二次救急医療に係る体制整備として、3病院及び協力病院との連携を図った。

【保健福祉部 健康推進課】

第2節 地域福祉活動

1. 地域福祉活動の充実

(1) 福祉団体の充実

○地域福祉活動の中心的役割を担っている社会福祉協議会が実施する地域福祉振興事業をはじめ、民間福祉団体等への支援を行い、地域福祉の推進を図った。

【保健福祉部 社会課】

(2) 福祉活動の拠点整備

○グリーンプラザの利用状況

高齢者、障害者、福祉団体等の活動の用に供する施設として、市民の健康増進と福祉の向上を図った。

- ・利用状況 件数 9,536件 人数 163,007人

【保健福祉部 社会課】

第3節 高齢者福祉

1. 高齢者の生きがづくり

(1) 社会参加機会の拡充

○高齢者の社会参加を促進し、健康でいきいきと暮らすことができるよう支援を行った。

- ・高齢者スポーツ大会 参加者数 646人
- ・高齢者バス券交付（70歳以上対象） 交付対象者数 18,792人
バス券交付者数 12,927人

所得制限を見直し（所得要件を世帯単位から個人単位へ変更）対象者の拡充を図った。

（見直しにより対象者数は拡充し、約1.6倍となった。）

【保健福祉部 高齢者福祉課】

(2) 生きがづくり

○高齢者が生きがいをもって積極的に地域活動に参加できるよう、老人クラブなどの自主的活動を支援するとともに、活動の場づくりを進めた。また、健康づくりや友愛活動、世代間交流を図る社会奉仕事業に対する支援を行った。

- ・老人クラブ育成事業 201クラブ 11,650人
- ・老人専用バス貸出 69回 1,979人
- ・敬老祝金支給事業 受領者数 77歳（喜寿） 1,503人
88歳（米寿） 426人
100歳 29人

○「ねんりんピック北海道・札幌2009」の開催

9月5日から7日までの3日間にわたり、「ねんりんピック北海道・札幌2009テニス交流大会」を開催した。

- ・合同開始式開催（ゲートボール交流大会・パークゴルフ交流大会との合同）
会 場：帯広市総合体育館
参加者：2, 250人
- ・テニス交流大会（第1日目 予選リーグ戦、第2日目 決勝トーナメント戦）
会 場：帯広の森テニスコート
参加者： 453人

【保健福祉部 高齢者福祉課】

2. 在宅サービスの充実

(1) 在宅サービスの充実

○介護を必要とする高齢者が在宅で安心して暮らすことができるよう、ホームヘルプサービスやショートステイ、配食サービス等の各種サービスを行った。

・ホームヘルパー派遣	217, 5時間	実利用者数	4人
・通所入浴	62回	実利用者数	2人
・配食サービス	97, 370食	実利用者数	697人
・家族介護用品支給	2, 031件	対象者数	217人
・ひとり暮らし高齢者訪問活動	164, 977回	実利用者数	1, 104人
・高齢者在宅生活援助サービス	276回	実利用者数	65人
・ねたきり高齢者等寝具類クリーニング	334件	実利用者数	209人
・ねたきり高齢者等理美容サービス	737件	実利用者数	191人
・家族介護リフレッシュ	4回	参加者数	57人

【保健福祉部 高齢者福祉課】

(2) 緊急対策の充実

○ひとり暮らしの高齢者が安心して生活できるよう、高齢者緊急通報システムを整備した。

- ・緊急通報システム 設置数 800台

【保健福祉部 高齢者福祉課】

3. 施設サービスの充実

(1) 共生型福祉事業の充実

○高齢者と障害者が、共同生活を行い、また地域住民との交流、老人クラブ等のボランティアなどの参画により、高齢者及び障害者が地域の中で社会の一員として自立し、生きがいをもって安心して暮らせるよう、共生型福祉施設整備を行った。

- ・施設建設補助 1件
- ・設備等購入補助 1件

【保健福祉部 高齢者福祉課】

(2) 小規模福祉施設スプリンクラー等の充実

○小規模福祉施設における防火管理体制等の見直しに対応するため、認知症グループホームのスプリンクラー設置経費に対して補助を行った。

- ・補助対象 6事業所9施設

【保健福祉部 高齢者福祉課】

(3) 介護老人保健施設（老人保健施設）の整備

○介護老人保健施設整備費補助 1件

【保健福祉部 健康推進課】

4. 総合的なサービス提供体制の整備

(1) 総合相談窓口の設置

○保健医療福祉に関する相談や苦情をどこに持ち込んだら良いかわからない場合に、安心して何でも相談できる窓口として設置し、相談内容に応じて、必要なサービスや担当窓口の紹介、調整を行った。

【保健福祉部 高齢者福祉課】

(2) 地域包括支援センターの充実

○各センターに1名ずつ認知症担当専門職員を配置し、認知症対応サービスの充実を図った。

【保健福祉部 高齢者福祉課】

第4節 障害者福祉

1. ノーマライゼーション（正しい障害者観）の定着

(1) 意識の啓発

○帯広駅内公共スペースの「福祉のひろば」と保健福祉センターを活用し、障害者が作成した作品等の展示・即売会や福祉機器の展示会を開催することにより、障害者の交流の機会を拡大するとともに、障害者への理解を深めた。

【保健福祉部 障害福祉課】

(2) ノーマライゼーション推進地区

○大正地区、大空・南の森地区、東部地区、西帯広地区を指定。各地区においては、ノーマライゼーション理念の普及啓発をはじめ、ふれあい交流事業や研修事業等各種事業が行われた。

【保健福祉部 障害福祉課】

2. 社会参加の促進

(1) 社会参加の促進

○心身障害児水泳教室

・帯広の森市民プール	5月8日～7月24日	毎週金曜日	
	12回開催	延参加者数	177人

○ハンディキャップスキー講習会

・メムロススキー場	1月7日～8日	参加者数	12人
-----------	---------	------	-----

○リフト付福祉バス運行事業

・福祉団体利用分			44件
・デイサービス利用分			3,068人

○手話講習会	36回開催	延参加者数	406人
--------	-------	-------	------

○手話ステップアップ講座	40回開催	延参加者数	1,031人
--------------	-------	-------	--------

○要約筆記講習会	8回開催	延参加者数	107人
----------	------	-------	------

○点字講習会	9回開催	実参加者数	31人
--------	------	-------	-----

○音訳・校正ボランティア養成講座	8回開催	実参加者数	12人
------------------	------	-------	-----

【保健福祉部 障害福祉課】

3. 福祉サービスの充実

(1) 予防・早期発見・早期療育体制の充実

○幼児ことばの教室	延利用回数	1, 548回
○心身障害児通園事業	延利用回数	10, 462回
○心身障害児早期療育事業	延利用回数	197回
○養育に不安を持つ親子に対し、「カンガルー教室」を継続開設し相談指導を行った。		

【こども未来部 子育て支援課】

(2) 社会適応訓練などの充実

○中途視覚障害者リハビリテーション事業	延利用者数	39人
○在宅身体障害者各種創作活動等の教室（5教室）	開催回数	137回
	延参加者数	1, 889人
○障害者生活支援センター事業（在宅障害者講座など）	開催回数	44回
	延参加者数	961人

【保健福祉部 障害福祉課】

(3) 在宅サービスの充実

○身体障害者送迎事業	延利用者数	1, 055人
○心身障害者（児）通所施設等交通費助成	実利用者数	224人
・所得制限を見直し（所得要件を世帯単位から個人単位へ変更）対象者の拡充を図った。 （見直しにより新たに対象となった者のうち、実際に利用した者は上記実利用者数のうち58人。）		
○重度障害者等移動制約者タクシー料金助成	実利用者数	1, 762人
・所得制限を見直し（所得要件を世帯単位から個人単位へ変更）対象者の拡充を図った。 （見直しにより新たに対象となった者のうち、実際に利用した者は上記実利用者数のうち407人。）		
○手話通訳者派遣	派遣件数	210件
○要約筆記通訳者派遣	派遣件数	55件
○在宅重度身体障害者緊急通報システム	設置数	47台
○重度心身障害者理美容サービス	延利用者数	201人
○重度心身障害者クリーニングサービス	延利用者数	62人
○補装具等の交付・修理		687件
○日常生活用具の給付		3, 769件
○障害者自立支援給付サービス（居宅介護・重度訪問介護・行動援護）	実利用者数	200人

【保健福祉部 障害福祉課】

(4) 相談体制の充実

○相談体制	総合相談員外9人	相談件数	10, 081件
○帯広市地域自立支援協議会		開催回数	12回

【保健福祉部 障害福祉課】

(5) その他

○身体障害者手帳交付状況	交付者数	7, 556人
○療育手帳交付状況	交付者数	1, 357人
○精神障害者保健福祉手帳交付状況	交付者数	928人
○自立支援医療（精神通院）受給者証交付状況	交付者数	2, 358人

- 特別障害者手当等支給 受給者数 223人
 - 更生医療の給付 受給者数 511人
 - 重度心身障害者医療費特別給付 延受診者数 70,304人
 平成20年10月より、対象外となっていた重度精神障害者のうち、精神障害者手帳1級所持者への拡大を行った。
 - 障害者自立支援法の導入
 - ・障害程度区分認定者 373人
 - ・障害者福祉サービス独自軽減制度適用者 491人
 - ・軽減対象範囲拡大のため、資産要件の見直しを実施。
 - ・障害福祉サービス報酬改定（平均5.1%の引上）。
 - ・障害者自立支援対策臨時特例交付金を活用し、利用者負担の軽減や事業所への支援を実施。
 - 地域活動支援センター 12カ所
 - 障害者自立支援給付サービス（施設入所支援、旧法施設支援、共同生活介護、共同生活援助、短期入所、生活介護、療養介護、自立訓練、就労移行支援、就労継続支援、児童デイサービス） 1,187人
 - 自立支援医療の独自軽減（拡充） 実利用者数 171人
 - 生活保護受給者の人工透析費用 実利用者数 61人
 - 地域生活体験ハウス事業 延利用者数 122人
- 【保健福祉部 障害福祉課】

第5節 児童福祉

1. 保育施設の整備

(1) 保育所の整備

- 民間移管に向け、南保育所の屋根改修及び外壁等塗装業務を行った。
- 民間移管に向け、栄保育所の屋根塗装及びフェンス改修を行った。
- ことぶき保育所ほか4カ所のへき地保育所の修繕を行った。
- 施設数及び入所児童数の状況

施設区分	施設数(カ所)	定員(人)	月平均入所児童数(人)
認可保育所	26	2,520	2,541
へき地保育所	7	375	210
合計	33	2,895	2,751

※へき地保育所のうち、上帯広保育所（定員30人）については休所中。

【こども未来部 こども課】

(2) 児童保育センターの整備

- 施設数及び入所児童数の状況

施設区分	施設数(カ所)	定員(人)	月平均入所児童数(人)
児童保育センター	26	1,290	1,399

※定員には分室分を含まない。

- 農村部に2カ所の児童保育センターを新設した。
 - ・愛国児童保育センター 定員 20人 入所児童数 10人
 - ・清川児童保育センター 定員 20人 入所児童数 13人
- 各児童保育センターの改修・修繕を行った。

【こども未来部 こども課】

2. 保育サービスの充実

(1) 低年齢児・障害児保育の充実

- 乳児保育 帯広保育所 外22所 月平均入所児童数 141人
受入枠の拡大 日赤東保育所 3人→6人
- 障害児保育 緑ヶ丘保育所 外25所 入所児童数 111人
・私立保育所に対し、障害児及び要支援児（障害児認定を受けていないが特別に配慮が必要な児童）3人に対し保育士2人を配置する体制の整備を行った。
- 病後児保育 Chips、ひなたぼっこ 延利用児童数 159人
【こども未来部 こども課】

(2) 延長保育・休日保育などの充実

- 延長保育 帯広保育所 外19所 日平均利用児童数 121人
- 休日保育 すずらん保育所 日平均利用児童数 12人
【こども未来部 こども課】

(3) 共同保育所などへの支援

- 認可保育所待機児童の受入れを行う共同保育所に対し支援を行った。
・受入児童数 1人
【こども未来部 こども課】

3. 総合的な子育て支援

(1) 子育て支援体制の充実

- 一時保育の実施（こでまり保育園、すずらん保育所、日赤東保育所）
延利用者数 4,479人
- 一時保育の充実 すずらん保育所の補完として、日赤東保育所で乳児の一時保育を行った。
- 絵本との出会い事業
保健福祉センター等において、生後4ヵ月の乳幼児に絵本を配布した。
配布児童数 1,414人
- 子育て支援短期利用事業の実施（十勝学園） 延利用日数 111日
- 第3子以降の保育料無料化 対象児童数 41人
- 児童手当 受給対象世帯数（2月定時払） 9,537世帯
- 児童扶養手当 受給対象者数 2,558人
- 特別児童扶養手当 受給対象者数 421人
- 助産施設入所措置援護
・児童福祉法第22条による助産施設
帯広協会病院、帯広厚生病院 措置件数 22件
- 家庭児童相談室 心理相談員 1人配置
相談員 2人配置 相談件数 4,955件
- 先輩ママさん訪問員制度
育児の孤立化、育児不安を軽減するため、先輩ママさんが新生児のいる家庭を訪問し、子育て情報の提供やゴミ袋を配布した。
・登録数 36人
- こんにちは赤ちゃん事業（地域担当保育士）
乳児家庭の全戸訪問のうち、第2子以降の乳児のいる家庭を対象に保育士が訪問し、育児や子育て不安に対するサポート体制の整備を図った。

○児童虐待防止リーフレットの作成・配布

地域人権啓発活動の一環として、児童虐待防止リーフレットを作成し、関係機関、子育て世帯、児童に配布した。

【こども未来部 こども課・子育て支援課】

(2) 労働環境の改善促進

○子育て応援事業所登録制度

次代を担う子どもたちの健やかな育成を支援する事業所を「子育て応援事業所」として登録する制度の普及を図った。

・子育て応援登録事業所数 130事業所

○おびひろ子育て応援企業ローン

子育て応援事業所として登録した事業所に対し、運転資金や設備資金を優遇金利で融資する制度を、商工中金帯広支店の協力により実施した。

・融資実績 1事業所 1,000千円

【こども未来部 子育て支援課】

(3) 放課後児童対策の充実

○待機児童対策

・緑ヶ丘、柏林台及び稲田児童保育センターの分室を、昨年度に引き続き開設した。

月平均入所児童数 計 83人

○大規模児童保育センターの分割

・若葉及び豊成児童保育センターに新たに分室を設置した。

月平均入所児童数 計 48人

【こども未来部 こども課】

4. 母子・父子福祉の充実

(1) 相談体制の充実

○母子家庭に対する各種の相談活動を行った。

・母子相談 母子自立支援員 1人配置 相談件数 601件

【こども未来部 こども課】

(2) 母子家庭等の自立支援

○母子家庭等日常生活支援

母子・父子家庭へ家庭生活支援員の派遣を行った。

・生活支援 4人 延日数 41日 延時間数 121時間

・子育て支援 1人 延日数 2日 延時間数 5時間

○自立支援教育訓練給付金

母子家庭の母に、就職用教育訓練講座受講費用の一部を助成した。

・ホームヘルパー講座 9人

○高等技能訓練促進

資格取得を促進するため、養成機関に修業する母子家庭の母に支給する訓練促進費の支給期間を、修業期間の後半期間から全期間に拡充した。

・支給者 9人

【こども未来部 こども課】

(3) ひとり親家庭等医療費の助成

○ひとり親家庭等医療費給付事業

給付件数 66,824件

ひとり親家庭等の母または父及び児童（18歳または20歳未満）の医療費負担を軽減するため、個人負担分の一部または全部を助成した。

・受給対象者数（平成21年3月末）	親	2,354人
	子	3,543人
		【こども未来部 こども課】

第6節 アイヌの人たちの福祉

1. アイヌ民族・文化への理解促進

(1) 民族・文化への理解促進

○「世界の先住民の国際デー(8月9日)」にちなんだ記念事業としてアイヌ文化展を開催し、アイヌ民族・文化への理解促進に努めた。

- ・開催日時 7月29日～31日
 - ・開催会場 庁舎市民ホール
 - ・内 容 民具・手工芸品・パネルの展示、アイヌ文化体験コーナー、啓発資料の配付
- 【保健福祉部 社会課】

2. 生活・教育環境の整備

(1) 生活環境の整備

○アイヌ生活相談員により、アイヌの人たちの生活、健康等についての指導・援助を行った。

- ・相談件数 421件
- ・相談内容 生活(216件)、健康(40件)、教育(21件)、その他(144件)

【保健福祉部 社会課】

(2) 交流活動の促進

○アイヌの人たちの活動拠点である生活館の管理・運営を行い、地域交流の推進を図った。

- ・生活館利用状況
- 延利用件数 517件 延利用者数 6,805人
- 主な利用内容 アイヌ語教室、アイヌ刺しゅう教室、帯広カムイトウウポポ保存会等

【保健福祉部 社会課】

第7節 社会保障

3. 介護保険制度の運営

(1) 介護保険制度の運営

○被保険者数（平成22年3月末現在）

世 帯 数				被 保 険 者 数			
総世帯数 (世帯)	第1号被保険者世帯数 (世帯)	第1号被保険者世帯数 対前年比	総世帯数に 占める第1号被保険者世帯数の割合	総人口 (人)	第1号被保険者数 (人)	第1号被保険者数対前年比	総人口に占める第1号被保険者数の割合
80,100	26,400	102.0%	33.0%	167,395	37,139	102.3%	22.2%

○要介護認定状況（平成22年3月末現在）

区分	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	計
第1号被保険者(人)	811	1,043	1,577	1,021	757	720	655	6,584
第2号被保険者(人)	9	21	51	38	18	16	28	181
総数(人)	820	1,064	1,628	1,059	775	736	683	6,765

○サービスの利用状況（延人数）

区分	居宅介護サービス	地域密着型サービス	施設介護サービス				サービス受給者計
			介護老人福祉施設	介護老人保健施設	介護療養型医療施設	小計	
第1号被保険者(人)	43,526	6,856	5,866	5,083	787	11,736	59,947
第2号被保険者(人)	1,308	16	39	157	0	196	1,516
総数(人)	44,834	6,872	5,905	5,240	787	11,932	61,463

※居宅介護サービスとその他のサービスをともに利用している方がいることから、それぞれの計と合計は一致しないことがある。

○介護保険料軽減の状況（帯広市独自軽減分）

人数	軽減額	軽減前の額	軽減後の額	軽減率
301人	3,759,690円	10,019,490円	6,259,800円	37.52%

・世帯一人当りの収入が、老齢福祉年金相当額以下

所得段階	基準	人数	保険料	軽減額	軽減後の額
第1段階	生活保護受給者を除く老齢福祉年金受給者のうち、世帯一人当りの収入が老齢福祉年金相当額以下の場合	5人	25,140円	12,570円	12,570円
第2段階	世帯一人当りの収入が老齢福祉年金相当額以下の場合	96人	25,140円	12,570円	12,570円
第3段階		0人	37,710円	25,140円	12,570円
第4段階(特例)			45,250円	32,680円	12,570円
第4段階		0人	50,280円	37,710円	12,570円

・生活保護基準なみの世帯

所得段階	基準	人数	保険料	軽減額	軽減後の額
第3段階	単身世帯で前年收入130万円以下の場合。ただし、世帯員が一人増えるごとに60万円を加算する。	193人	37,710円	12,570円	25,140円
第4段階(特例)		6人	45,250円	20,110円	25,140円
第4段階		1人	50,280円	25,140円	25,140円

(2) 介護報酬改定の対応

国庫支出金をもとに設置した介護従事者処遇改善臨時特例基金の繰入により、介護報酬改定等に伴う保険料上昇の抑制を図った。また、介護給付費準備基金の計画的な繰入により保険料基準額を第三期と同額に据え置いた。

【保健福祉部 介護保険課】

4. 生活の援護

(1) 自立の支援

保護区分	延人員	保護区分	延人員
生活扶助	51,127 人	出産扶助	1 人
住宅扶助	48,207 人	生業扶助	1,666 人
教育扶助	4,826 人	葬祭扶助	65 人
介護扶助	6,222 人	冬季薪炭費	12,415 人
医療扶助	39,546 人	施設事務費	356 人
月平均世帯数	3,196 世帯		
月平均人員	4,466 人		
月平均支出額	619,644 千円		

【保健福祉部 保護課】

第1節 幼児教育

1. 幼稚園教育の充実

(1) 就園の奨励

○父母の経済的負担を軽減し、幼児の就園促進を図るため、就園奨励費及び教材費を補助し、幼稚園教育の充実に努めた。また就園奨励費については、国の制度見直しに伴い、補助額の拡充を行った。

・就園奨励費支給者数 1,569人

【こども未来部 こども課】

(2) 研修機会の充実

○幼稚園教員の資質向上のため、教員研修費を補助し、幼稚園教員の研修機会の充実に努めた。

・教員研修補助対象者数 99人

【こども未来部 こども課】

2. 生涯学習活動への支援

○児童会館活動

・子供たちの科学する心や創造性・社会性を育むため、日帰り・宿泊学習のほか科学クラブや文化クラブなどの事業を行うとともに、野草園・岩内自然の村の管理を行った。

・施設の利用状況

施設名	利用者数(人)
児童会館	112,231
野草園	13,450
岩内自然の村	6,426

・科学関連事業

科学展示室入場者		23,107人
プラネタリウム入場者		10,492人
宿泊学習・日帰り理科学習	79校	3,126人
星の観察会	12回	405人
自然体験クラブ	6回	53人
親子科学実験教室	24回	646人
少年少女発明クラブ	22回	365人
親子おもしろ教室	12回	501人
青少年のための科学の祭典	10月11日	834人
中学生科学研究発表会	11月14日	39人
理科クラブ	6回	70人

・文化関連事業

宿泊研修	13団体	637人
わくわくこどもまつり	5月4日～6日	4,157人
氷まつり協賛行事	1月31日	1,061人
人形劇公演	11回	763人
親子エンジョイ将棋	10回	119人

親子囲碁入門教室	10回	159人
もっくん教室	8回	240人
星空のコンサート	3回	152人
全十勝小中学生将棋大会	3月21日	236人
帯広児童劇団公演	11月22日	880人
・国際協力事業		
JICA理科実験教育研修コースの実施	6カ国9日間	107人
・野草園関連事業		
野草園開園の集い	4月29日	250人
野草園散策会(春・秋)	2回	160人
「野草園の花」作品展	7月13日～17日	930人
・岩内自然の村関連事業		
ふれあいファーム	5月～9月(3回)	373人
・公開講座	8月2日～9日	935人
	1月10日	550人
	3月27日	669人
・出前講座 小学校	6校 11クラス	418人
放課後・学童保育	1センター	10人
保育所	4カ所	222人
・地球のようす館	3月21日	331人

【こども未来部 児童会館】

3. 青少年の健全育成

(1) 家庭教育の充実

○家庭教育学級の推進	16学級	学級生	270人
------------	------	-----	------

【こども未来部 子育て支援課】

(2) 体験活動機会の充実

○各種青少年健全育成事業			
・子ども王国(プラザまつり)			800人
・中学生からのメッセージ	15校		15人
・体育館開放事業	25校		7,665人
○成人の集い	参加者数		1,075人

【こども未来部 青少年課】

(3) 世代間交流の促進

○放課後子ども教室・放課後子ども広場			
<p>小学校を核として、放課後や週休日などに、児童が異学年の児童や地域住民と交流する機会と場所を設け、地域の大人、NPO法人等がボランティアとして特別教室等を活用して、児童へ多様な体験活動を提供する居場所づくりを行った。放課後子ども広場は、学校内に併設した児童保育センターと連携して居場所づくりを行った。</p>			
・放課後子ども教室	10校	延参加者数	10,521人
・放課後子ども広場	3校	延参加者数	1,595人

【こども未来部 青少年課】

(4) 指導者の養成

- 北海道子ども会育成研究協議会(登別市) 出席者数 4人
- 地域子ども会リーダー宿泊研修会 2回 152人
- ジュニアリーダー養成講座 修了者数 15人

【こども未来部 青少年課】

(5) 健全育成ネットワークづくり

- 青少年の健全育成をめざし、関係団体の連携強化を図るため、小学校区毎にフォーラムを開催し、情報交換や課題検討を行った。

- ・ 9地区 1,860人

【こども未来部 青少年課】

(6) 非行の防止

- 指導員及び指導協力員等による街頭指導並びに相談員による青少年の悩み相談を実施し、非行防止及び環境浄化に努め、青少年の健全育成の助長を図った。

- ・街頭指導・声かけ総数 496回 330人 相談指導 51人 93回

【こども未来部 青少年課(青少年センター)】

5. 生涯学習施設の整備

(1) 児童会館の整備

- 児童会館の耐震診断を実施した。
- 電子顕微鏡、高速度カメラを導入した。

【こども未来部 児童会館】